

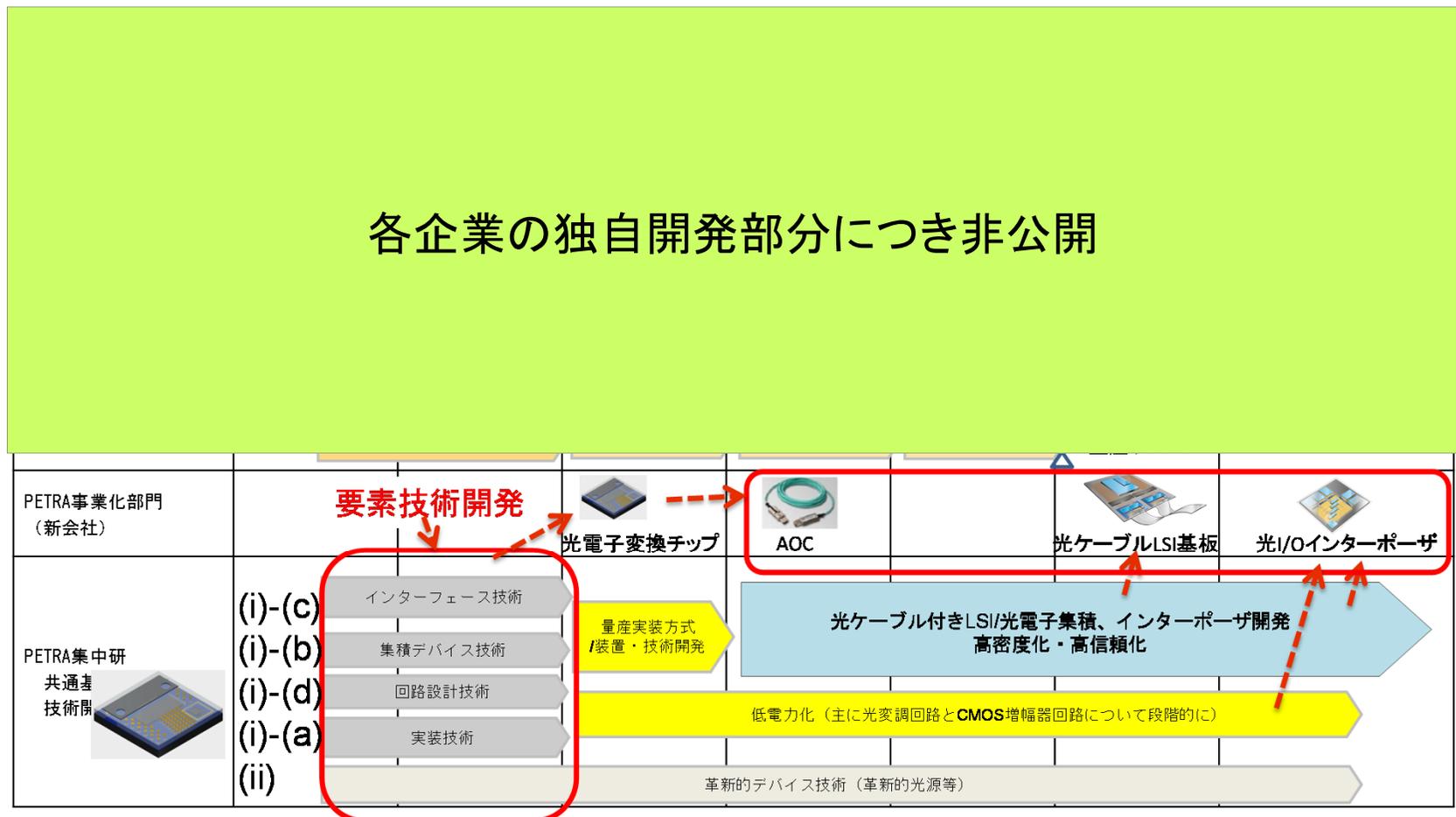
8. 実施計画

- ・ 最終目標として従来と比較して1/10の低電力化と1/100の小型化を実現する光I/Oインターポーザを開発
- ・ H27に小型光電子変換チップを搭載したAOC、H29に光ケーブル付LSI基板、H23に光I/Oインターポーザをそれぞれ開発。
- ・ 要素技術開発はH25に完了。ただし大学実施の革新的デバイス技術(光源等)は継続的に推進、適応可能性の目処が立った段階で光電子変換チップへ組み込む

②システム化技術の開発

各企業の独自開発部分につき非公開

①基盤技術の開発



日本知財仲裁センター「事業適合性判定」に挑戦

• 新会社設立時⇒関連知財の事業適合性判定が重要

- 新会社の事業に必要な知財の姿を描き出す
- 光I/Oコアを第1ステップとし、事業領域拡大に伴う事業適合性判定へ

事業適合性判定 様々な知財の流れ、利用形態が存在：有効特許だけで2万件以上

